

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	SY	学部・学科	生命ナノ・物質システム
学 年	修士 2 年	派遣国	イタリア
派遣大学	ベネチア大学		
期 間	2024 年 9 月 1 日～ 2025 年 7 月 31 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (63000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バスと徒歩) で、約 (50) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	10 万円	
学用品購入費	5000 円	オンライン教材
交通費	5000 円	市内で使えるパスがある
交際費	3 万円	
その他	5 万円	旅行費等

合計

19 万円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

基本的に危ない人はどこにでもいる。ベネチア島内は観光地の中では一番安全。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(12 万) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **メストレ** ）

治安は噂通り悪い。特に駅の近くではよく移民が揉め事を起こしている。

夜に不用意に出歩かなければ襲われたりすることはない。

近くに Interspa という大きなスーパーがあって、基本何でも手に入るのですごくお世話になった。ベネチア島内に比べて物価が安く品ぞろえもいい。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ベネチア大学	所在地	ベネチア
最寄空港	マルコポーロ空港	空港からの距離	バスで 50 分
空港⇄大学	(バス) *移動手段		
学生数	23000	留学生数	1500
学部	Department of Economics Department of Philosophy and Cultural Heritage Venice School of Management Department of Environmental Sciences, Informatics and Statistics Department of Molecular Sciences and Nanosystems Department of Linguistics and Comparative Cultural Studies Department of Asian and North African Studies Department of Humanities *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	イタリア語			イタリア語	
午後	自由会話	自由会話	イタリア語	イタリア語	自由会話

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	プログラミング	イタリア語	イタリア語	プログラミング	
午後	自由会話	サイエンスヒストリー	イタリア語	イタリア語	サイエンスヒストリー

3. 履修内容

科目	イタリア語		
履修期間	半年	単位数	6
授業内容／形態	週2のコミュニケーション授業と週2の座学がある。 課題が多く、テストがしんどい。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	自由会話		
履修期間	通年	単位数	
授業内容／形態	日本語学科に通うイタリア人の自由会話を手伝うボランティア		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introducton of programming		
履修期間	半年	単位数	
授業内容／形態	初修向けだからか、基本先生のコードを写経する授業 テストは事前にまとめたノートを見ていいので簡単		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Science history		
履修期間	半年	単位数	
授業内容／形態	普通に歴史の授業だった。テストは範囲が授業で扱った範囲の 3 倍はある。		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

私は修士課程の1年間、イタリア・ベネチア大学に交換留学し、語学と専門分野の両面から多くを学びました。現地ではイタリア語・英語に加え、理系科目も履修し、異なる教育スタイルや研究アプローチに触れることで、自分の専門知識を多角的に捉え直す機会となりました。特に印象的だったのは、授業でのディスカッション文化です。学生が主体的に発言し、多様な立場から議論を深める様子は、日本での学びとは大きく異なり、積極的に自分の意見を発信する姿勢の重要性を強く感じました。

また、日本企業が主催する半年間のワークショップにイタリア人学生と混成チームで参加し、チームリーダーとしてビジネスプランの策定を主導しました。文化や価値観の違いによる意見の衝突や時間感覚のズレなど、多くの課題がありましたが、まず相手の背景を理解することから始め、段階的な合意形成を行うことで乗り越えることができました。最終的に成果物を形にできた経験は、異文化環境でのリーダーシップや調整力を鍛える貴重な機会となりました。

さらに休暇期間にはヨーロッパ各国を自力で周遊し、異国の地でも自立して行動する力を身につけました。文化・習慣・社会システムが異なる地域での体験は、自分の視野を広げるだけでなく、異なる価値観を柔軟に受け入れる素地をつくってくれました。

この留学を通じて私は、専門知識をわかりやすく伝える力、多様な人々と協働して成果を出す力、自立して行動する力を得ることができました。今後はこれらの経験を土台に、グローバルな環境でも積極的に挑戦し、学術・ビジネス双方の分野で社会に貢献していきたいと考えています。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

これまで量子化学分野での研究やイタリア留学、異文化協働の経験を通じて、理論的思考力・国際感覚・多様な人材との協働力を培ってきました。今後は、これらの強みを活かし、理系の専門知識と国際的な視野を融合させて社会課題の解決に貢献していきたいと考えています。特に、脱炭素やエネルギー転換など持続可能性に関わる分野に強い関心があり、学術研究で培ったデータ解析力・仮説検証力をビジネスや政策立案の現場にも応用することで、科学的根拠に基づいた意思決定や価値創造を支援したいです。将来的には、国内外問わず多様なステークホルダーと協働し、社会にインパクトを与えるプロジェクトを推進する立場を目指しています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

大学生活は、自分の興味や強みを試しながら成長できる貴重な時間です。授業や研究だけでなく、部活・アルバイト・留学など幅広い経験に挑戦することで、自分の軸や将来像が見えてきます。最初は不安や失敗があっても当然ですが、その過程で培う問題解決力や人間関係構築力は、後々大きな財産になります。特に、異なる価値観を持つ人と積極的に関わり、自分の意見を言語化する練習をすると、どんな環境でも活躍できる基礎体力がつきます。大学の枠にとらわれず、学外活動や国際的な交流にも目を向け、自分自身の可能性を広げてください。